

別記様式(第5条関係)

会議録

会議の名称	第8回登米市環境審議会
開催日時	平成26年11月4日(火) 午後2時開会、午後3時15分閉会
開催場所	登米市南方庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	佐藤 幸一
出席者(委員)の氏名	【学識経験者】 嶋田哲郎、高橋由紀子 【関係団体】 須藤健治、佐藤律子、只野好子、佐藤 幸一 【関係行政機関】 佐藤重人、松野 茂 【市民(公募)】 和田伸一、長埜孝喜 【市長が必要と認める者】 及川俊弘
欠席者(委員)の氏名	【関係団体】小野寺裕幸、高橋平克、鈴木洋子 【市民(公募)】 蓬田恵美子
事務局職員職氏名	登米市長 布施孝尚、市民生活部 部長 神田雅春、環境課 課長 木村達之、課長補佐兼係長 大宮兵治、課長補佐兼係長 小泉一誠、主査 佐々木清晴
議題	議事 会長及び副会長の選任について 報告事項 (仮称)生物多様性登米戦略素案について その他 環境基本計画の見直しのスケジュールについて
会議結果	会長及び副会長の選任について 会長に佐藤幸一委員、副会長に高橋由紀子委員を選任。
会議経過	別添のとおり
会議資料	資料1 生物多様性登米戦略について 資料2 (仮称)生物多様性登米戦略素案の構成について 資料3 (仮称)生物多様性登米戦略素案 資料4 (仮称)生物多様性登米戦略素案 行動計画[別冊] 資料5 今までの経過 資料6 今後の予定

発言者	議題・発言・結果
事務局	開会 辞令交付式
市長	開会あいさつ
事務局	委員及び出席職員の紹介
事務局	登米市環境審議会の概要説明 (環境審議会の設置根拠、調査審議の内容、会長及び副会長の選任、審議会の会議及び会議録の公開等)
暫時議長(市長)	会長及び副会長の選任を行う。 登米市環境基本条例第34条第7項の規定に基づき、会長、副会長は委員の互選によって定めることになっているが、互選の方法について、委員の皆様からご意見をいただきたい。
委員	事務局案があれば提示いただきたい。
暫時議長(市長)	事務局で副案があればお願いします。
事務局	事務局案として、会長に佐藤幸一委員、副会長に高橋由紀子委員を提案する。
暫時議長(市長)	事務局案の提案があったが、いかがか。 (全会一致で承認) (議長交代)
議長(会長)	これより議事に入る。 報告事項として、「(仮称)生物多様性登米戦略 素案について」に関して、事務局より説明願いたい。
事務局	(資料3に基づいて、素案の概要を説明)
議長(会長)	ただいまの説明に関して、ご質問、ご意見があれば伺いたい。
委員	この戦略に委員として関わっている。登米戦略を策定にあたっては、登米市らしさが一番大事になっている。登米市は、資料2に記載されている3つのエリア、森と農と水辺のエリアに区分され、とても特徴的な地域的なものを踏まえての素案になっている。また、検討委員会では、登米市のオリジナルティを反映させたものと、第5章の誰が何をするのかを、特に議論され、この素案がまとまったことを報告する。
議長(会長)	その他にいかがか。
事務局	この戦略素案は、いろいろな会議で見ていただき、ご意見をいただいた。かなり修正箇所が出ており、その点を修正して再度検討委員会に諮りたいと思っている。

委員	有害鳥獣については、記載してあるのか。
事務局	有害鳥獣については、少し記載している。県の戦略にも、個体調整する計画に基づいて行うことを記載されているので、市の方もその計画に合わせて駆除の協力を行う旨を記載している。
委員	この前、岩手県でニホンジカとヤマドリを捕まえたところ、放射能のセシウムがすごく高く、食べることが出来なかったとの新聞記事を見た。登米市でもニホンジカも多くなっていることや、ハクビシンの被害も多いことから、有害鳥獣の記載について聞いた。
議長(会長)	午前中、東和での植林に参加した。ニホンカによる植林の木々の食害が多いことを聞いた。今後、駆除対象になるのか。
事務局	ニホンジカは、駆除対象になっている。
委員	ニホンジカの駆除後の処理が難しいので、猟師がいないことを聞く。このような状況で、被害が増えることへの対応はどうなっているのか。
議長(会長)	駆除される方々が高齢化で減少している現状である。ニホンジカは100kg近くある個体もあり、一人二人で搬送も出来きない状況で、処理が難しいと聞いている。 環境課に連絡が入ってくる交通事故にあったニホンジカについては、業者に依頼してクレーン車を使用して処理場まで搬送して処理をしている。
委員	猟師への委託料が安すぎるので受ける人がいないと聞く。被害が増えるのであれば予算を増やすべきと考える。
事務局	担当課へ意見があった旨は伝えておく。
議長(会長)	その他にご意見はないか。
委員	時々、森に関する研修会の案内が来る。具体的にどのような内容で行っているのか教えていただきたい。
委員	今の林業は、以前の森林と違って木がかなり大きくなっており、従来の林業技術とは違った技術が必要になって、訓練が必要となっている。産業振興や人材育成の視点での研修を開催している。
議長(会長)	その他ご意見はないか。
委員	私も登米戦略に関わっている。今、戦略(案)を渡されても内容が理解するのは難しいが、2050年までの行動計画には、これからの登米市を担っていく子どもたちをどう教育していくのかも議論し、行動計画に記載しているので、後で読んでいただきたい。
議長(会長)	読んでいただき、内容をご理解願いたい。
委員	審議会としては、どのようにしていくのか。
事務局	これからの予定はパブリックコメントを実施して市民から意見をいただく。その後、とめ戦略検討委員会で戦略案をまとめ、審議会に諮問し、審議会委員の意見をまとめて戦略案を登米市長へ答申いただく予定である。

委員	確認するが、審議会での意見を反映された戦略案が答申となることでよいか。
事務局	そのようになる。
議長(会長)	今回は、パブリックコメント及び検討委員会での修正後、最終案で諮問を受けることになる。
委員	戦略案は内容があるので、次回審議会まで読んでいただいたほうが充実した意見が出せるのではないかと。その間、意見等があれば、随時、環境課に連絡していただいた方がよい。
委員	記載されている関係行政機関への照会はいつごろ行うのか。
事務局	検討委員会には、県自然保護課長様が委員として、担当者がオブザーバーとして出席されているので、自然保護課を通して照会したい。また、これから記述が変わることが予想されるので、検討委員会終了後に照会することを考えている。
委員	森林のことをもう少し聞きたい。行動計画別冊の10ページに記載されている「林業担い手育成事業」と「みやぎの豊かな森林づくり事業(間伐の実施者に対する助成)」は予算化されるのか。金額などは、後々示されるのか。
事務局	この事業は、右側の欄に「継続」と記載しているので、現在も行なわれている事業である。金額等の記載については考えていない。
委員	継続であれば予算化されているのか。
事務局	予算化されている。
委員	小学校5年生への「環境についてのアンケート調査」は、よい質問内容になっている。今の子どもたちの状況をつかんで環境基本計画策定にあたって重要な部分に反映されることでアンケート調査が実施されたものと感じた。 学校では環境教育を行うが、1、2回で終わってしまう。長く続いているのは、身近なごみ拾いなどのクリーン活動であるので、生物多様性に関する活動もできればよいと思う。 生きもの調査の結果や、ペレットストーブの普及率などの環境に関するデータなどを市のホームページ等で公表していただきたい。また、市のホームページに個人で参加できる事業などの掲載や、生物多様性の活動内容を報告する様式などをダウンロードができるようにしていただければと思う。
議長(会長)	今日、午前中に植林事業に参加してきた。米川小学校の全児童が参加していた。これからも、子どもたちが参加できる事業には出来るだけ参加いただきたい。調査ものの結果などはフィードバックできるように、またホームページで公開できるように検討いただきたい。
事務局	できるだけ出来るように検討したい。素案の中にも「情報の見えるか」として、全ての市民が情報を共有できるような仕組みづくりについて記載している。
議長(会長)	他にいかがか。なければ、その他として事務局から説明願う。

事務局	「環境についてのアンケート調査」の実施及び結果について、また、環境基本計画の見直しのスケジュールについて説明。
委員	環境基本計画の見直しの検討はどこで行っていくのか。
事務局	現計画がはじめて策定されるので、策定委員会を立ち上げ検討した。今回は、環境審議会で検討いただく。
委員	資料に基づき議論することになるのか。
事務局	そのような形でお願いしたい。
議長(会長)	ご質問、ご意見がなければ、議事はこれで終了させていただく。
副会長	閉会のあいさつ
	(閉会)